

期 間 入 札 の 公 告

令和 8年 9月25日

大阪地方裁判所岸和田支部

裁判所書記官 石 田 麻 里 菜

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年10月 9日午前9時00分から 令和 8年10月16日午後5時00分まで
開札期日	日 時 場 所 令和 8年10月23日 午前10時00分 大阪地方裁判所岸和田支部売却場
売却決定 期日	日 時 場 所 令和 8年11月13日 午前 9時50分 大阪地方裁判所岸和田支部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 8年 9月25日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1	2,810,000 2,248,000		562,000	23,540	5,044
</					



物 件 目 録

1 所 在 泉南市信達牧野372番地10

家屋 番号 372番10

種 類 居宅

構 造 木造スレート葺2階建

床 面 積 1階 54.65平方メートル
2階 51.34平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 54.65平方メートル
2階 約54.65平方メートル



物 件 明 細 書

令和 8年 7月17日

大阪地方裁判所岸和田支部

裁判所書記官 石 田 麻 里 菜

1 不動産の表示

【物件番号1】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号1】

本件所有者が占有している。

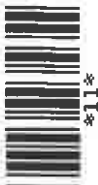
5 その他買受けの参考となる事項

【物件番号1】

本件建物のために、その敷地（①地番372番10、地積231.37平方メートル、所有者A ②地番372番1、地積64.23平方メートル、所有者A）につき借地権（賃借権）が存する。買受人は、地主の承諾又は裁判等を要する。

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。



物 件 目 録

1 所 在 泉南市信達牧野372番地10

家屋 番号 372番10

種 類 居宅

構 造 木造スレート葺2階建

床 面 積 1階 54.65平方メートル
2階 51.34平方メートル

(現況)

床 面 積 1階 54.65平方メートル
2階 約54.65平方メートル



令和 7 年(ケ)第 75 号
令和 7 年 10 月 29 日受理
令和 7 年 12 月 10 日提出

現況調査報告書

大阪地方裁判所岸和田支部

執行官 山 内 恒 雄

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

1 所 在 泉南市信達牧野372番地10

家屋 番号 372番10

種 類 居宅

構 造 木造スレート葺2階建

床 面 積 1階 54.65平方メートル
2階 51.34平方メートル

不 動 産 の 表 示	「物件目録」のとおり
住 居 表 示 等	泉南市信達牧野３７２番地の１０
建 物	物件１
種類、構造及び床面積の概略	☐ 公簿上の記載とほぼ同一である ☒ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☒ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種　類： ☐ 構　造： ☒ 床面積：２階約５４．６５㎡
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある ┌種　類： │構　造： └床面積：
占有者及び占有状況	☒ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を 住居 として使用している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり ☐
その他の事項	「その他の事項」のとおり
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある 地方裁判所 支部 平成 年（ ）第 号 〔保管開始日 平成 年 月 日〕
敷 地 （目的外土地）	「目的外土地の概況」のとおり
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

目的外土地の概況 (物件1関係)			
所 在	泉南市信達牧野		
地 番	372番10、372番1		
地 目	☒ 宅地 ☐ 山林 ☐ 雑種地 ☐ 畑 ☐ 田 ☐		
地 積	231.37平方メートル(372番10)、64.23平方メートル(372番1) (■全部)		
所 有 者	☐ 建物所有者 ☒ その他の者(A)		
その他の事項	「その他の事項」のとおり		
■関係人(■目的建物所有者)の陳述／■提示文書(一般定期借地権設定契約公正証書等)の要旨			
占有権原	☐ 所有権 ☐ 地上権 ☒ 賃借権(一般定期借地権) ☐ 使用借権 ☐		
占有開始時期	平成 8年11月20日(平成10年12月7日大東建託株式会社から移転)		
最初の契約日	平成 8年11月20日(公正証書作成日)		
契約等期間	平成 8年11月20日から 52年間		
更新の種別	☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新		
現在の契約等期間	年 月 日から ☐ 平成 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし		
契約等貸主	☒ 土地所有者 ☐ その他の者()		
当事者借主	☒ 建物所有者 ☐ その他の者()		
地代・支払時期等	月金2万4550円(毎年5月19日と11月19日限り翌6か月分支払い) (3年毎に改定する旨、改定方式等についての契約条項あり)		
地代前払	☒ ない ☐ ある(金 円 分まで)		
敷金・保証金	☐ ない ☒ ある(保証金:金750万円)(土地を原状に回復して明け渡した後2か月以内に残債務を差し引いた残額を保証金返還請求権のための抵当権抹消手続を受けるのと引き換えに返還。保証金返還請求権の譲渡・質入れにつき、制限あり。)		
特約等			
地代滞納	☒ ない ☐ ある(令和 年 月 日現在 金 円)		
契約解除	☒ ない ☐ ある()		
訴訟提起等	☒ ない 地方裁判所 支部 平成 年()第 号 ☐ ある ☐ 係属中 ☐ 終局()		
その他	「その他の事項」のとおり		
執行官の意見	☒ 上記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

その他の事項

■ 表札等の表示

表札の表示 所有者の姓

■ 目的建物の現況について

- 1 形状は概ね間取略図のとおりであり、2階に約3.31㎡の増築部分が存在する以外は概ね建物図面と一致した。
- 2 内部の状況は別紙添付写真のとおりであり、家財道具、日常生活用品等の動産類が存在した。
- 3 2階天井部分に収納式梯子付きの屋根裏物置が存在した。
- 4 床にたわみや傾きを感じられる部分が存在した。その他、経年によるものと思われる劣化、損耗が認められた。

■ 目的外土地（地番372番10、372番1）の現況について

- 1 概測したところ、形状は概ね土地建物位置関係図のとおりであり、地積は概ね公簿どおりであると思われる。ただし、境界が判然としないので、正確には専門家による調査を要する。
- 2 各目的外土地は、一体となって目的建物の敷地となっている。
- 3 泉南市役所で調査したところ、地番372番1の目的外土地は建築基準法上の道路に接面している。
- 4 土地建物位置関係図のとおり、高低差が存在した。

以 上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■所有者	1 目的建物には、私が居住しています。目的建物、目的外土地は、どの部分も誰にも貸していません。 2 1階のLDは、フローリングの上に畳を置いています。 3 10年ぐらい前の地震でベランダから水漏れするようになったので、大工さんに修理・補修をしてもらいました。そのとき、吹き抜け部分を2階の物置にしてもらいました。 4 目的建物の床にたわみがあり、LDのはきだし窓の鍵が壊れて別の鍵をつけています。それ以外は損傷や不具合はないと思います。目的建物には、雨漏りはありません。洗面所の扉は、外して2階に置いています。 5 約5年前まで家の外で中型犬を飼育していました。そのときのフェンスがLDの南側に残っています。そこにあるウッドデッキは、置いているだけで固定していません。 6 定期借地権の公正証書や契約書は見あたりません。公正証書では賃料支払い期日は5月19日と11月19日となっているようですが、1月末日と7月末日限りで大東建託に支払っています。 以上

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調査の経過

調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年11月11日 9：45－ 9：55	物件所在地	物件及び占有確認、連絡文書投入
7年11月11日 10：05－10：20	泉南市役所	道路等調査
7年11月11日 11：10－11：25	大阪法務局 岸和田支局	建物図面等調査
7年11月13日 11：02－11：10	執行官室	所有者から電話
7年11月13日 ： － ：	執行官室	目的外土地所有者へ照会書送付
7年12月 8日 9：00－ 9：30	物件所在地	所有者立会いのもと立入調査、評価人帯同
年 月 日 ： － ：		

(特記事項)

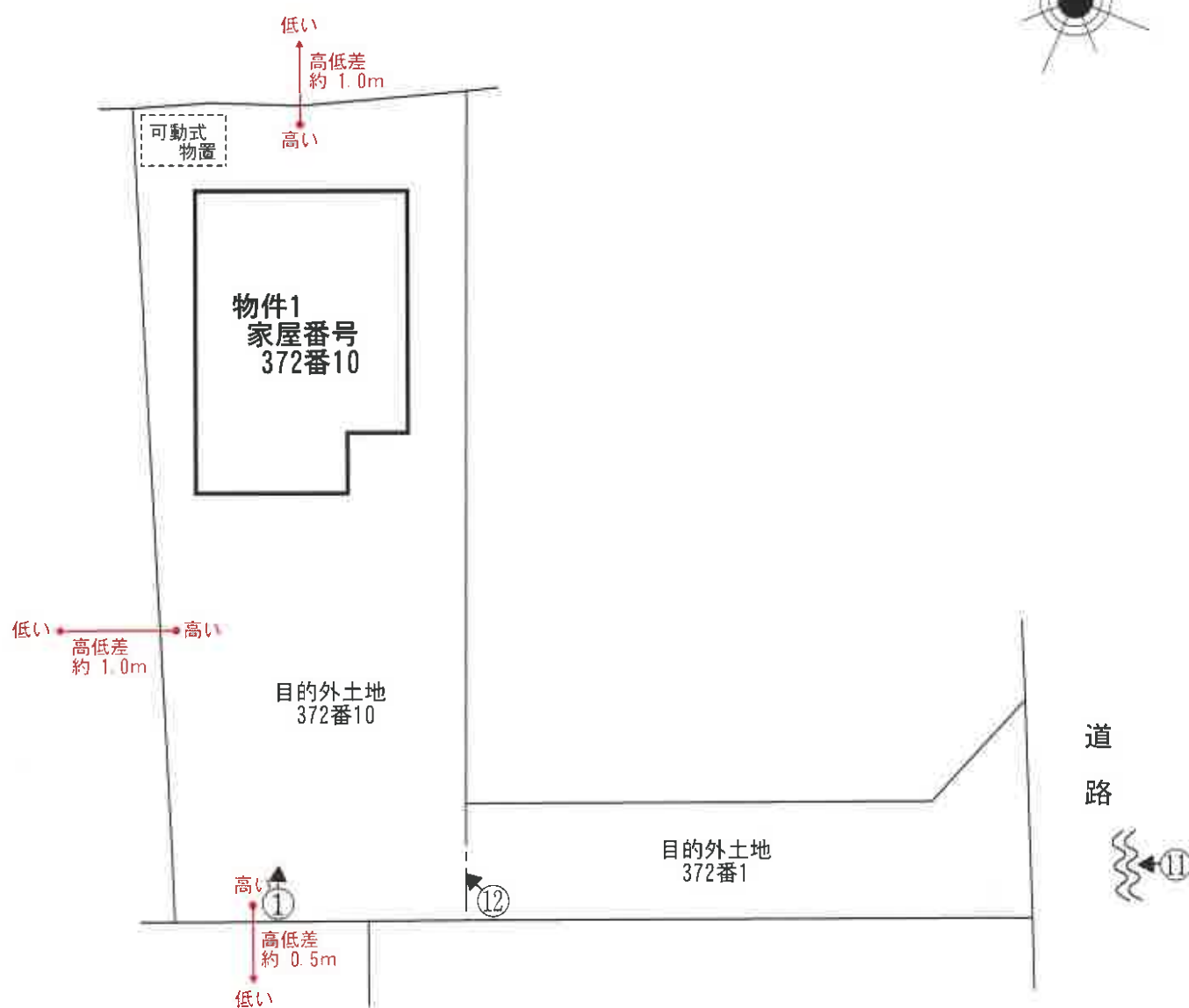
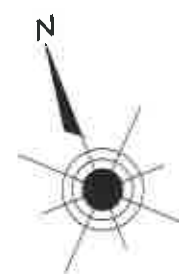
- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、解錠技術者を同行して臨場した。
- ☐ 令和 年 月 日
目的物件は不在で施錠されていたので、 を証人として立ち会わせ、解錠の上建物内に立ち入った。
- ☐ 令和 年 月 日
休日・夜間執行許可の提示をした。
- ☐

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

土地建物位置関係図

令和7年（ケ）第75号

◀○ 写真撮影位置方向



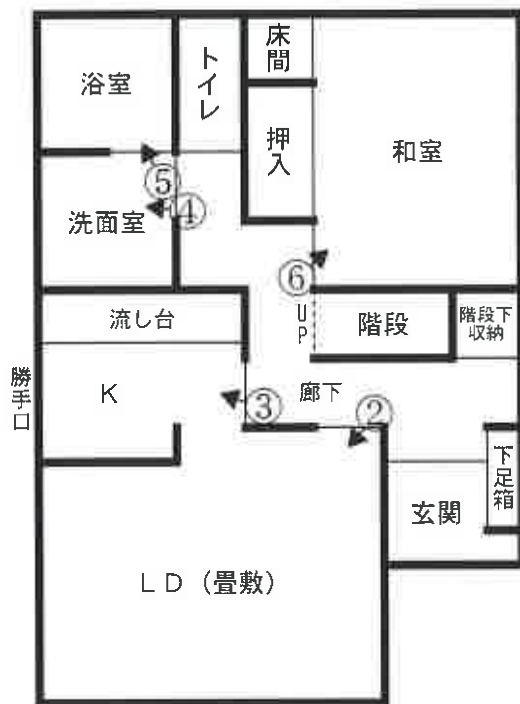
間取略図

令和7年（ケ）第75号

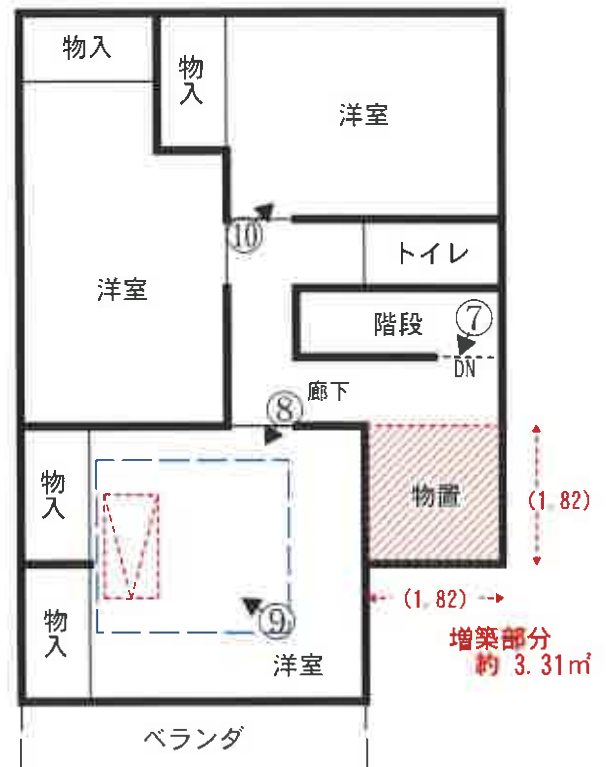
◀○ 写真撮影位置方向



1階平面図



2階平面図



天井収納式階段（屋根裏収納庫 入口部分）

屋根裏収納庫部分

目的建物



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



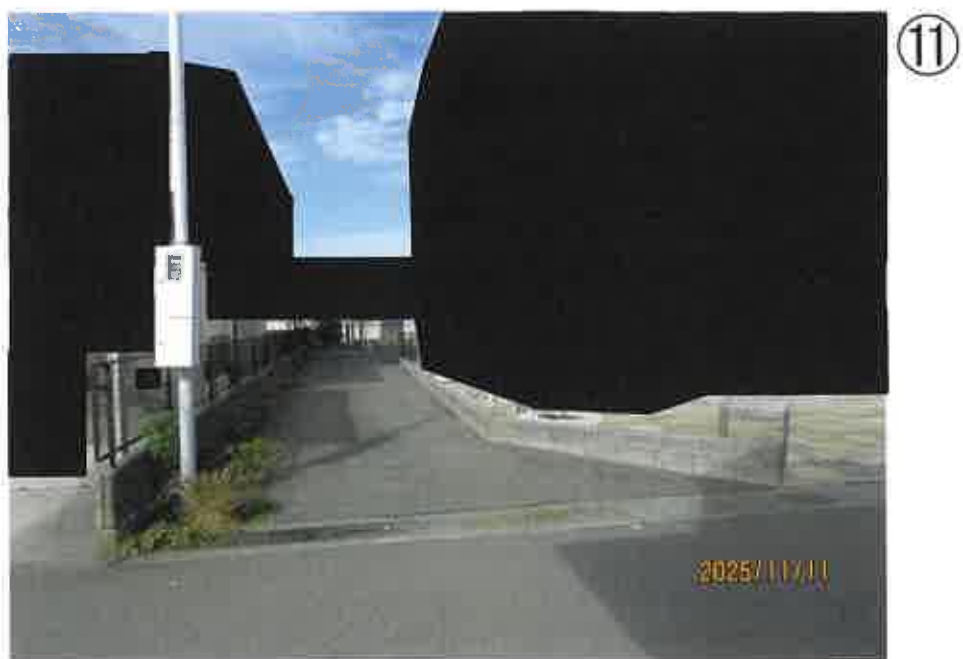
⑧



⑨



⑩



令和7年（ケ） 第75号
令和7年12月8日 現地調査
令和8年2月13日 評 価

大阪地方裁判所 岸和田支部 御中

評 価 書
(借地権付建物)

評価人 不動産鑑定士

中村 麻貴子

第1 評価額

物 件	評 価 額
1	金 2,810,000円

- 1 物件1の価格は、目的外土地の敷地利用権付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。

したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の要因（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等を反映させた価格とする。

- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。

- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。

- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所 在 等	登 記	現 況
1	所 在 家屋番号 種 類 構 造 床 面 積	物件目録記載のとおり	床面積：2階：約54.65㎡
番号	特 記 事 項		
1	(1) 物件1は下記目的外土地に建物所有を目的とする一般定期借地権を設定して存している。目的外土地に登録されている内容は以下のとおり。 〔表示等〕 所在地番：泉南市信達牧野372番10、372番1 地目：宅地 地積：372番10：231.37㎡、372番1：64.23㎡ 計：295.60㎡ 所有者：A 〔賃借権の内容〕 目的：建物所有 借賃：372番10：1月27,500円、372番1：1月500円 支払期：毎年5月19日及び11月19日にその翌日から6カ月分払い 存続期間：平成8年11月20日から52年間 特約：借地借家法第22条の特約 (2) 建物所有者の陳述によれば、定期借地権(賃借権)設定契約の内容は以下のとおりである。 期間：(1) 存続期間に同じ 地代：月額24,550円 支払時期：(1) 支払期に同じ 地代の改定等：3年毎に改定する旨、改定方式等についての契約条項あり。 保証金：7,500,000円(土地を原状に回復して明け渡した後2カ月以内に残債務を差し引いた残額を保証金返還請求権のための抵当権抹消手続きを受けると引き換えに返還。保証金返還請求権の譲渡・質入れにつき、制限あり。) 滞納額：なし (3) 上記(1)及び(2)のうち地代及び保証金の評価時点現在の額は以下のとおり。 地代：月額24,550円 保証金：7,500,000円 (4) 保証金返還請求権を被担保債権とする抵当権設定の登記がある。 (5) 本件では、現借地権者が有している保証金の返還請求権は買受人に承継されず、買受人が別途敷金及び保証金相当額を負担する可能性があるものとして評価を行った。 (6) 2階南東側部分に約3.31㎡の未登記増築部分がある(間取略図参照)。本件では登記記載床面積に未登記増築部分を加算した床面積を採用する。		

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等(目的外土地)

位置・交通	阪和線 和泉砂川駅 西方 道路距離 約380m (別添「位置図」参照)	
付近の状況	中規模一般住宅等が建ち並ぶ住宅地域。将来的にも、現状の住環境を維持していくものと思料される。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分	市街化区域
	用途地域	第1種住居地域
	建ぺい率	60%
	容積率	200%
	防火規制	建築基準法第22条適用
	その他の規制	日影規制、宅地造成等工事規制区域
画地条件	規模	295.60㎡
	形状	不整形
	間口・奥行	間口約6.5m・南西側奥行約25.9m
	高低差等	概ね平坦
接面道路の状況	南東側	幅員約4m市道(建築基準法第42条1項1号)に概ね等高に接面
	接道状況	中間画地
土地の利用状況等	現況	一般住宅の敷地
	南東側	道路、住宅
	南西側	住宅
	北東側	住宅
	北西側	空地
供給処理施設	上水道	あり
	ガス配管	あり
	下水道	なし
	(注) 供給処理施設における「あり」とは、対象物件の前面道路に該施設の本管(以下、「施設管」という。)が通っており、通常で敷地内への引込みが出来る状態にあることをいう。「なし」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引き込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役場での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。	
土壌汚染等	目的外土地(分筆前)の旧土地台帳からは田の登記地目、個人の所有者名の履歴が確認された。過去の住宅地図(昭和48年、61年、平成8年)によると、白地の表示が確認された。土壌汚染の有無及び内容について確実な情報を得るには、土壌汚染調査会社による専門調査を要する。	
特記事項	・目的外土地は(地番372番10、372番1)は一体となって物件1の敷地となっている。目的外土地の形状は概ね土地建物位置確定図のとおり、地積は概ね公簿どおりであると思われる。但し、境界が判然としないため、正確には専門家による調査を要する。 ・北東側隣接地及び北西側隣接地より約1.0m高く、南西側隣接地より約0.5m高い。	

2 建物の概況及び利用状況等（物件1）

区 分	主である建物	
建築時期及び 経済的残存耐 用年数等	建築年月日	（登記記載）平成9年4月8日新築
	経過年数	約29年
	経済的残存耐用年数	約6年
仕 様	構 造	木造
	屋 根	スレート葺
	外 壁	サイディング、吹付タイル
	内 壁	クロス等
	天 井	クロス、板等
	床	フローリング、畳等
	設 備	電気、給排水設備等
	その他	なし
床面積（現況）	延 109.30㎡ 登記数量と現況は異なる（間取略図参照）。	
現況用途等	階 層	2階建
	現況用途	居宅
	間取り	4LDK＋物置
品 等	普通程度	
保守管理の状態	概ね普通程度。経年相当の損傷が認められる。	
建物の利用状況	所有者が住居として占有している。	
特 記 事 項	・ 2階天井部分に収納式梯子付きの屋根裏物置が存する。 ・ 床にたわみや傾きを感じられる部分が存する。 ・ 建築確認（有）、検査済証（有） ・ 設備機器の作動の状況は未確認である。 ・ 目的物件の建築時期、構造、用途等よりアスベスト含有建材使用の可能性は否定できない。アスベスト使用の有無等詳細については専門機関による調査を要する。	

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 目的外土地（借地部分）

目的外土地の建付地価格を次のとおり求めた。

物件 番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格(円) (千円未満四捨五入) オ (ア×イ×ウ×エ)
目的外土地	41,500	0.79	295.60	0.90	8,722,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 泉南-20

$$\begin{array}{ccccc} \text{公示価格等} & \text{時点修正} & \text{標準化補正} & \text{地域格差} & \text{標準画地価格} \\ 46,600\text{円/㎡} & \times 100/100 & \times 100/103 & \times 100/109 & = 41,500\text{円/㎡} \end{array}$$

◇時点修正： 公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：

※接面・方位	規模	形状	その他	総合（相乗積）
1.03	1.00	1.00	1.00	1.03

※接面・方位：方位(南西) 1.03

◇地域格差：

街路	接近	環境	行政	総合（相乗積）
1.02	0.95	1.10	1.02	1.09

イ 個別格差：

※1接面・方位	規模	形状	その他	総合（相乗積）
1.03	1.00	0.77	1.00	0.79

※1接面・方位：方位(南東) 1.03

ウ 地積：登記数量による。

エ 建付減価：建物と敷地の適応の状態等を考慮した。

② 物件1（建物）

目的建物の再調達原価を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物の価格を求めた。

物件 番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延面積 (㎡) イ	現価率 ウ	建物の価格(円) (千円未満四捨五入) エ (ア×イ×ウ)
1	200,000	109.30	0.15	3,279,000

ウ 現価率

経過年数	約29年
経済的残存耐用年数	約6年
観察減価	30%
残価率	5%

耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

$$\begin{aligned} \text{現価率} &= \{ \text{残価率} 5\% + (1 - 0.05) \times \text{経済的残存耐用年数} 6\text{年} / (\text{経過年数} 29\text{年} + \text{経済的残存耐用年数} 6\text{年}) \} \times (1 - 0.3) \\ &= 0.15 \end{aligned}$$

※観察減価は中古建物に係る市場の特性等を考慮して査定した。

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

物件 番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) (千円未満四捨五入) ウ (ア×イ)
目的外土地	8,722,000	0.20	借地権(定期借地権)	1,744,000

② 内訳価格及び一括価格

物件 番号	基礎となる価格 (円) (1①オ, 1②エ) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) (2①ウ) イ	占有 減価 ウ	市場性 修正 エ	競売市 場修正 オ	その他の 控除減価 (敷金等) (円) カ	評価額 (円) (万円未満四捨五入) キ ((ア+イ) ×ウ×エ×オ×カ)
1	3,279,000	+ 1,744,000	1.00	0.80	0.70	0	2,810,000

ウ 占有減価

本件の場合不要。

エ 市場性修正

定期借地権付建物の中古市場は成熟しているとは言えず市場性が劣ると認められることから、上記のとおり市場性修正を行った。

オ 競売市場修正

第2の「評価の条件」欄記載の不動産競売市場特有の要因を考慮のうえ、競売市場修正率を0.70と決定した。

カ その他の控除減価（敷金等）

本件の場合不要

第6 参考価格資料

1 地価公示 泉南-20

所 在 : 泉南市信達牧野673番7外
価 格 : 46,600円/㎡
位 置 : 阪和線 和泉砂川駅 北西方 約800m (道路距離)
価格時点 : 令和7年1月1日
地 積 : 177㎡
供給処理施設 : 水道
接面街路 : 南西6.9m市道
用途指定等 : 第1種住居地域 (建ぺい率60%, 容積率200%)
地域の概要 : 中規模一般住宅が建ち並ぶ住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和7年度)

物件1 : 1,681,450円

第7 附属資料

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 地積測量図写
- 4 建物図面・各階平面図写
- 5 土地建物位置関係図
- 6 間取略図

以 上

物 件 目 録

1 所 在 泉南市信達牧野 3 7 2 番地 1 0

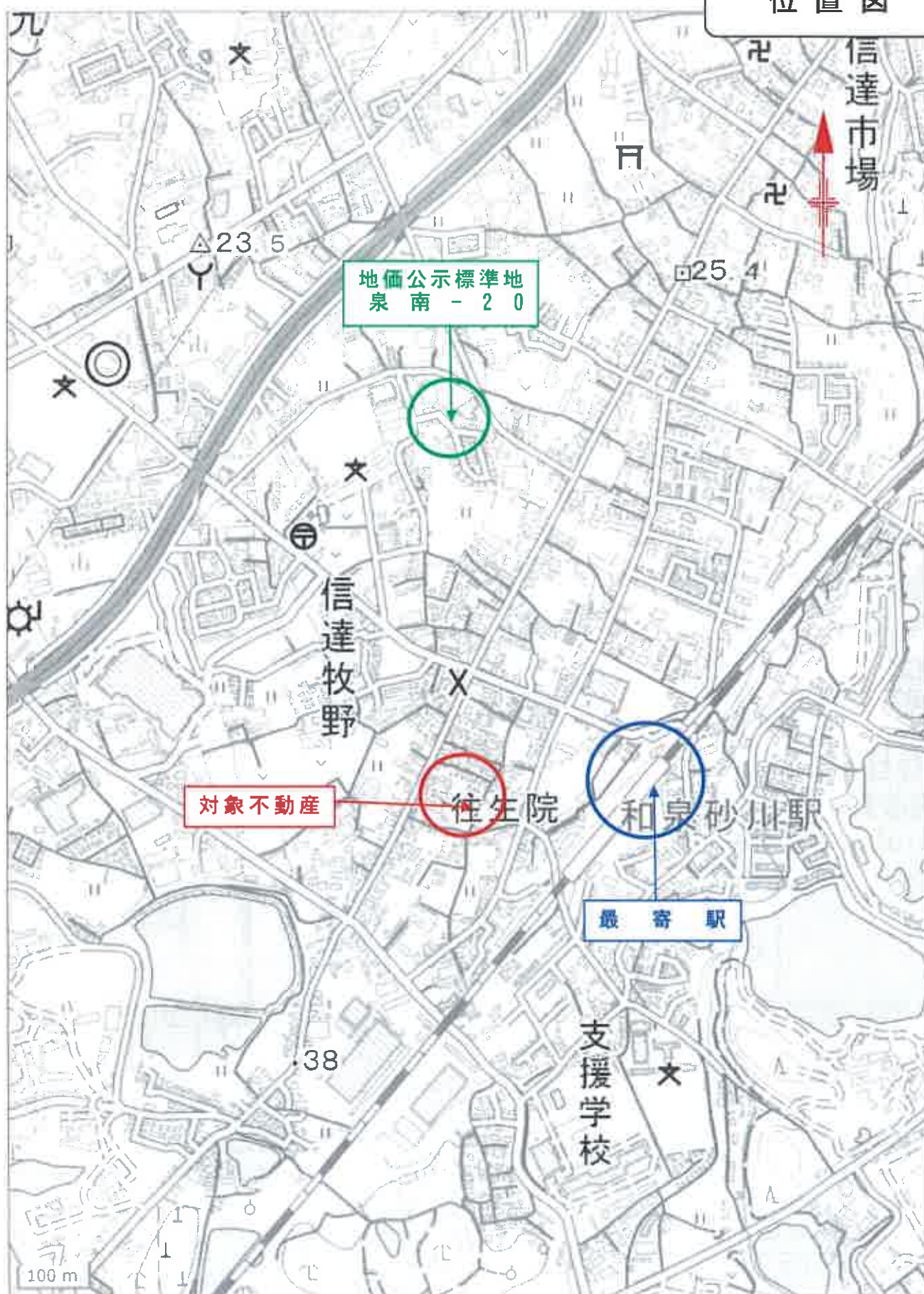
家屋 番号 3 7 2 番 1 0

種 類 居宅

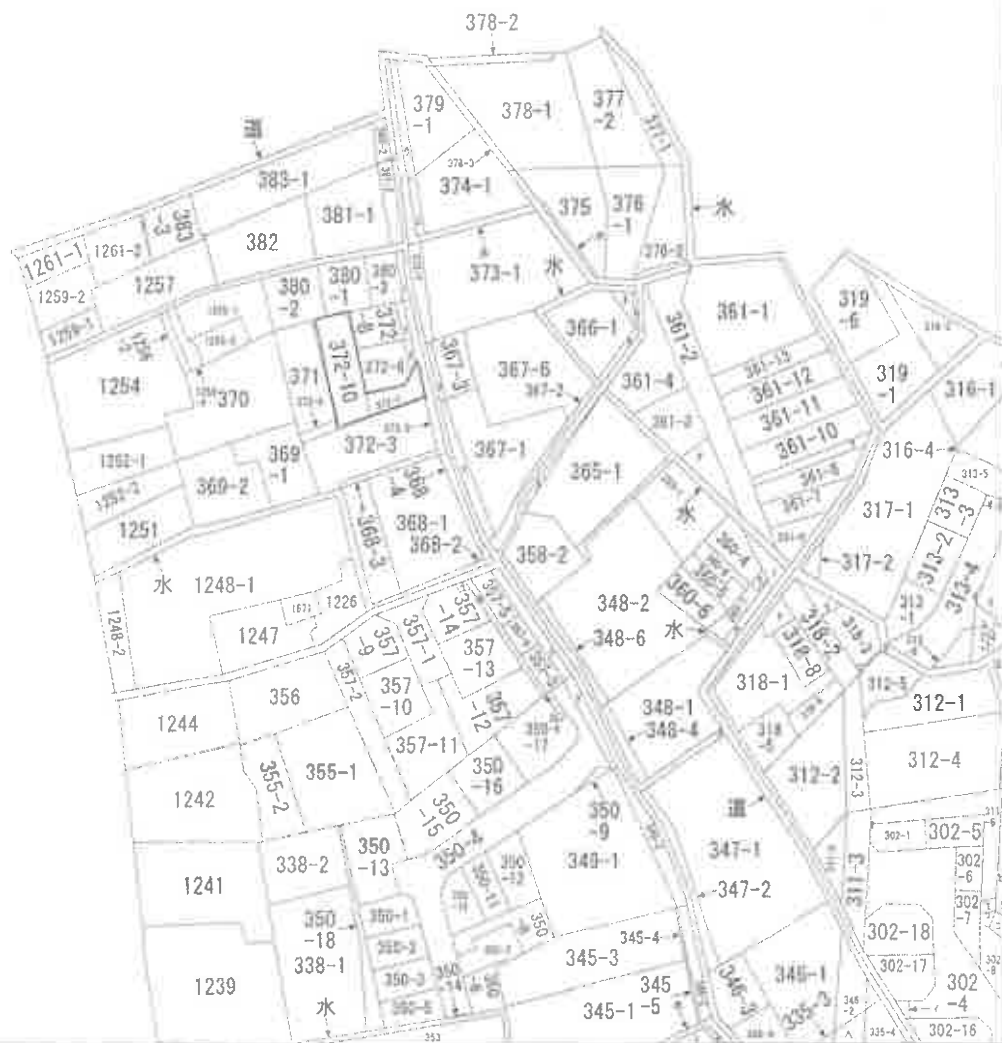
構 造 木造スレート葺 2 階建

床 面 積 1 階 5 4. 6 5 平方メートル
2 階 5 1. 3 4 平方メートル

位置図



地理院地図



(注) 地図に準ずる図面は、土地の区画を明確にした不動産登記法所定の地図が備え付けられるまでの間、これに代わるものとして備え付けられている図面で、土地の位置及び形状の概略を記載した図面です。

地番区域見出

信達牧野

請求部	所在	泉南市信達牧野				地番	372番10				
出力縮	縮尺不明	精度区		座標系又は記号		分類	地図に準ずる図面			種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日					備付年月日(原図)				補記事項		

これは地図に準ずる図面に記録されている内容を証明した書面である。

(大阪法務局岸和田支局管轄)

令和7年8月8日

東京法務局中野出張所

登記官

請求番号：22-1

(1/2)

A3 から A4 に縮小

193997

前 372-後・新

地積測量図

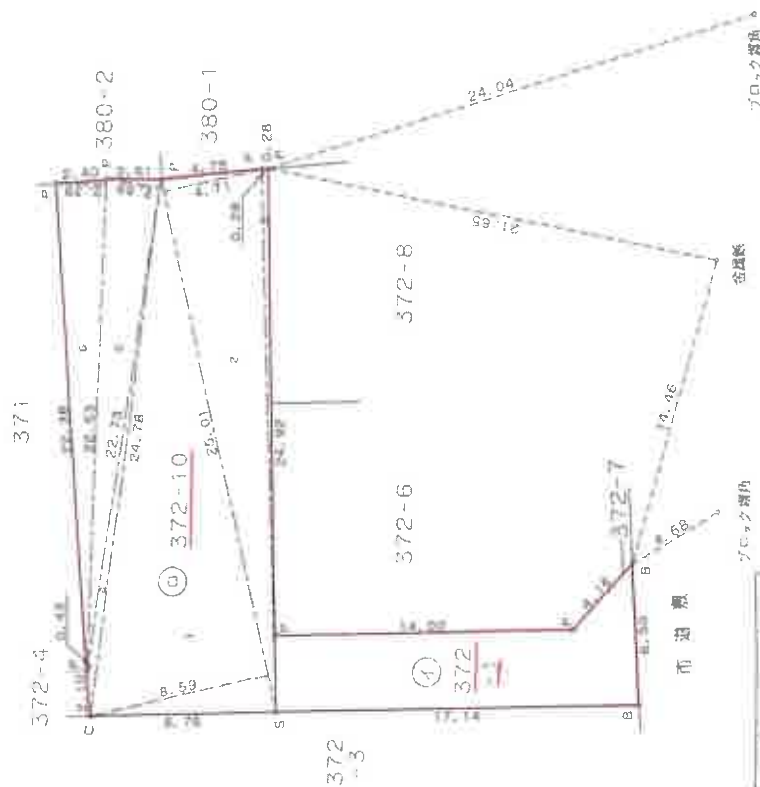
地 番 372-1.-10

土地の所在 泉南市 信達牧野

三 測 定 値

地番 NO.	① 372-10	② 372-10	③ 372-10	④ 372-10
1	25.01	8.59	214.8359	
2	25.01	4.71	117.7971	
3	24.92	0.28	6.9776	
4	24.78	0.43	10.6554	
5	22.73	2.59	58.8707	
6	22.53	2.38	52.6214	
		延面積	462.7981	
		地積	231.37	m ²

地番 公 積	① 372-1	② 372-1	③ 372-1	④ 372-1
	295.61670	延面積	231.37905	
		地積	64.23765	
		地積	64.23	m ²



記 号	説 明
C	コンクリート杭
H	手 掘 杭
P	プラスチック杭
S	金属プレート

作製者

申請人

縮尺

1/250

8 年 5 月 14 日 (作製)

A3 から A4 に縮小

令和7年8月8日

東京地務局申出場所

登記官

請求番号：22-3

建物図面

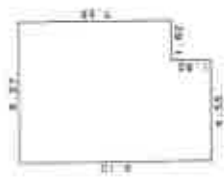
503764

H.L.O.11.27 各階平面図

家屋番号 372-10

建物の所在 東京都港区芝浦372番地10

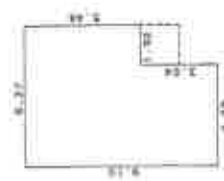
1 階



求積表

9.10 X 4.55	=	41.4050
7.28 X 1.82	=	13.2496
合計		54.6546
床面積		54.65 m ²

2 階



求積表

9.10 X 4.55	=	41.4050
5.46 X 1.82	=	9.9372
合計		51.3422
床面積		51.34 m ²

380-2 380-3

371

372-8



372-3



作製者

縮尺

1/250

申請人

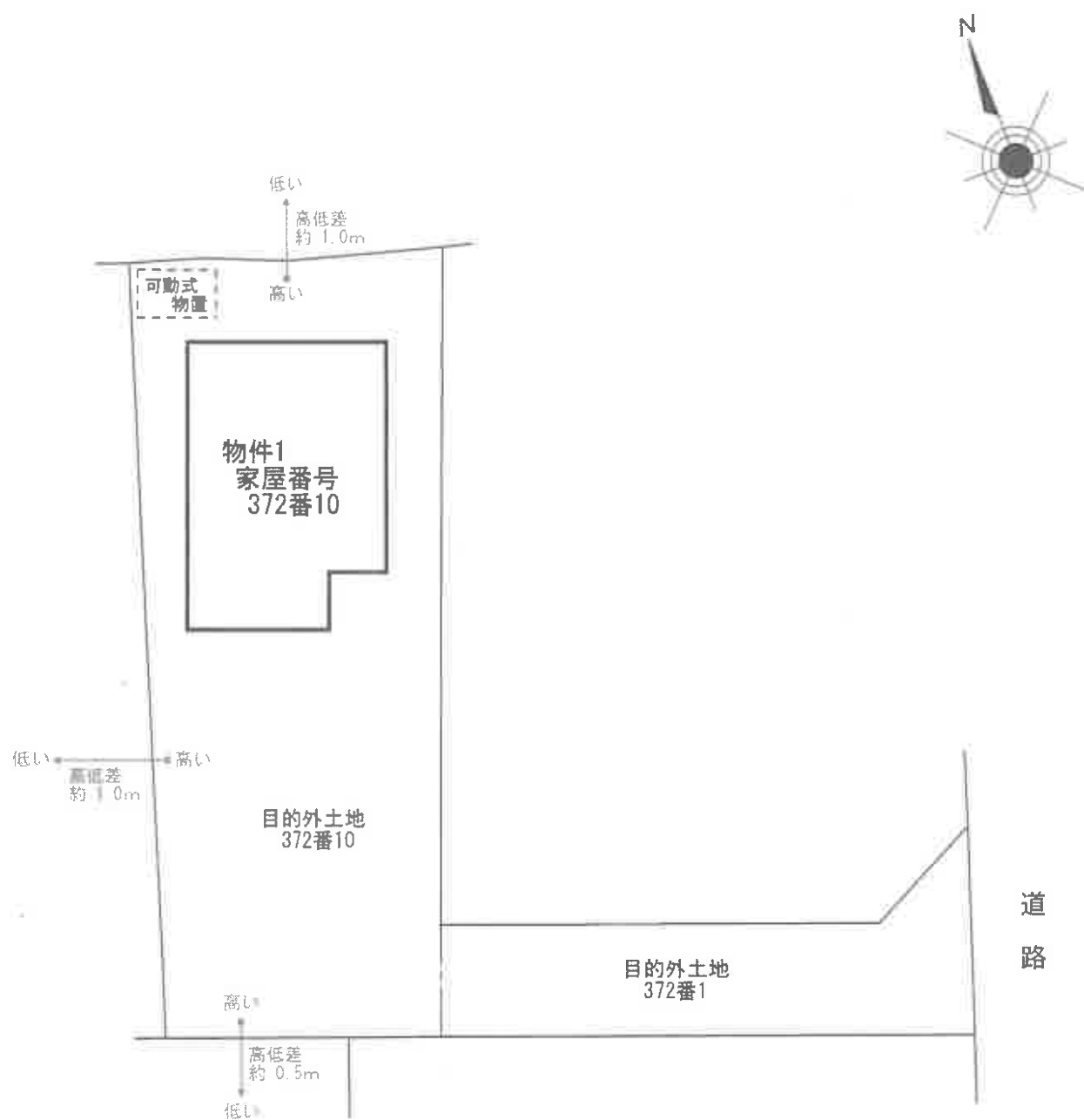
縮尺

1/500

A3 から A4 に縮小

土地建物位置関係図

令和7年（ケ）第75号



間取略図

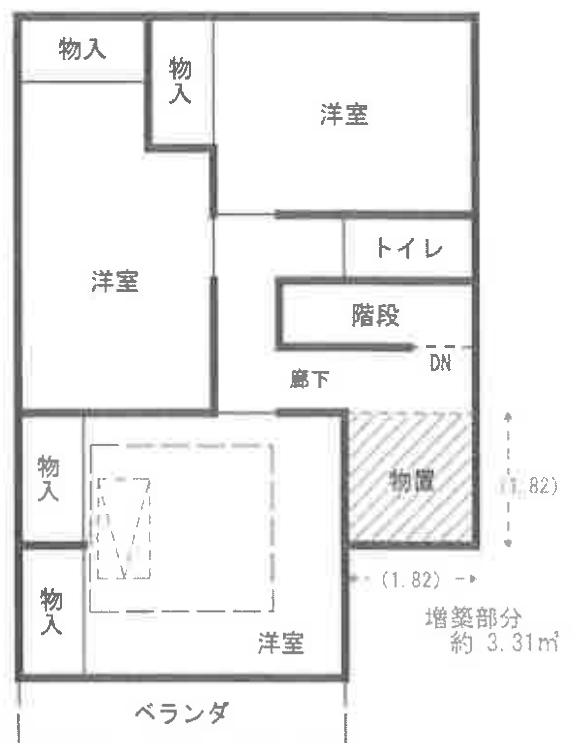
令和7年（ケ）第75号



1階平面図



2階平面図



- 天井収納式階段（屋根裏収納庫 入口部分）
- 屋根裏収納庫部分

（単位：約m）